隔日刊
食品新聞
発行所 食品新聞社
http://www.shokuhin.net/
大阪市北区南森町2－3－30
郵便番号 530－0054
電話 06（6361）4972㈹
東京都中央区入船1－9－8
郵便番号 104－0042
電話 03（3552）3756－4031
名古屋市中区丸の内2・10・11
リブラ丸の内6 305号
郵便番号 460－0002
電話 052（221）5391㈹
（支局）広島・福岡

© 食品新聞社 2018
THE JAPAN FOOD NEWS

購読料 半年33,346円

チョコレート市場

上期動向、前年並みで推移

踊り場に入った高カカオ

菓子業界はここ数年、チョコレートとシリアルの2大牽引車に依存する形で成長を遂げてきた。それぞれ付加価値で単価アップを実現したことも大きい。5年以上も小売金額の伸長率が、生産金額の伸長率を上回ってきたことがデフレ脱却の糸口として注目を集めてきた。それも今年は相次ぐ台風に猛暑、大地震と未曾有の天変地異に市場も揺れ動いている。消費動向としては、インバウンドの2大聖地といえる大阪と北海道の主力空港が一時期とはいえ使用不能になった影響は無視できない。特に近畿圏の消費の落ち込みはボディブローのように効いた。チョコについては、今年度上期は前年並みに消費動向が落ち着いた。ブームを巻き起こしてきたハイカカオが踊り場に差し掛かっている。

チョコ市場は高カカオの健康効果に脚光が集まり、無垢カテゴリーの高成長を生んできた。それも降ってわいたという話ではなく、メーカーの長年の研究成果が世に認められ、新たな需要獲得に結びついてきたことが要因である。平成29年度のチョコ市場は、生産数量5・7％増、生産金額4・5％増、小売金額4・6％増となり、ここ数年で最も高い伸び率を示している。

一方で、チョコであれば何でも売れたわけではなく、一時期のチョコスナックの商品開発は下火となり、無垢や徳用大袋などが成長を支えてきた。数年前には主原料であるカカオ豆価格の高騰やナッツ関係の大幅な値上がりにより苦境にあえいでいたが、値上げや減量などの規格変更を実施することで、何とか壁を乗り越えて今日に至っている。

いずれにしても、もともと日本のチョコレートは品質レベル的に海外からの評価も高く、安く売り過ぎてきた嫌いがある。将来的に国内市場を展望しても、少子高齢化では大量安値販売では対応に限界が来ることも、歴然としていることは間違いない情勢だ。既存品は適正利益の取れる価格を維持し、価値ある新商品で付加価値を提案しようとする、明治やロッテ、江崎グリコをはじめとする大手企業の商品開発および販売姿勢は中長期視野からも的を射たものといえる。

よって、現状のハイカカオ市場は前年比6掛けとも7掛けとも言われるが、それも昨年が高伸長だったことを考慮すれば、それほど慌てる話ではない。むしろ、今後を盤石にするための新たな商品施策や健康に関するエビデンスなど、不断の努力が業界には求められているといえよう。

ここ数年、日本国内でもバレンタインシーズンに行われているサロン・デュ・ショコラの盛況ぶりを拝察すると、チョコレート人気は高まる一方である。ただバレンタインでは市販品というよりはギフト・銘店関係に勝機が高い。10月末のハロウィンも、世を騒がす数々の問題を引き起こしているとはいえ菓子業界にとっては朗報でもあり、もはやクリスマス商戦を抜いていると言われるほどに活気にあふれている。春季催事の穴を埋めるイースターについては、分母は低いもののいまだ成長過程にあり、プラス要因しか見当たらないとも言われる。

大手・中堅のメーカー各社は、チョコの生産設備には継続して投資を行う中長期計画を公表しており、菓子業界、特にチョコレートに関しては、それほど悲観することはない。健康志向のチョコ分野は前年比4％増程度と引き続き伸長している様子である。むしろ、これからの業界の取り組み次第によるところが大きいと考えられる。

ごま製品で偽装表示

海外原料を国産表記

鹿北製油

鹿北製油（鹿児島県）は10月31日、国産ごまを使用した食品ごま・ごま油などの製品で外国産原料を混ぜた偽装表示を行っていたことを明らかにした。該当商品は食品ごま12品、ごま油10品、えごま油1品。国産ごま原料が品薄となり、15年製造分から産地偽装を行っていたという。ごまは99％が海外からの輸入原料に依存。わが国のごま輸入量は年間15~16万tに対し、国産ごまの生産量は200t程度に過ぎないのが現状だ。

同社は鹿児島県喜界島などの国産ごまを原料とする食品ごま・ごま油などを一般小売店や生協、自然食品店・通販などで展開。国産志向が高まる中で、希少な国産原料使用のごまメーカーとして知られていた。

秋の叙勲

多数の業界人に栄誉

旭重　**荒蒔康一郎氏**（麒麟麦酒元社長）

本田勝彦氏（日本たばこ産業元社長）

豊田昌洋氏（エア・ウォーター会長兼CEO）

旭中　**横澤正克氏**（昭和産業元社長）

平成30年秋の叙勲が発表され、多数の業界関係者が栄誉に輝いた。本紙関係の受章者は次の通り（敬称略／順不同）。

横澤氏

山田氏

川西氏

榊原氏

荒蒔氏

農林水産省関係

旭日中綬章＝横澤正克（昭和産業元社長）▽旭日小綬章＝黒田寛（日の本穀粉代表取締役、全国穀類工業協同組合理事長）、佐藤節夫（日本食肉市場卸売協会元会長）、西川隆雄（ニシカワ食品社長、全日本パン協同組合連合会会長）、藤縄利康（ヨックモック会長、日本チョコレート工業協同組合元理事長）▽旭日双光章＝川勝康行（川勝總本家社長、元京都府漬物協同組合理事長）、久保廣登（長野県漬物協同組合元理事長）、山田清繁（ヤマダフーズ会長、全国納豆協同組合連合会元副会長）

経済産業省関係

旭日重光章＝豊田昌洋（エア・ウォーター会長兼CEO）▽旭日中綬章＝林孝司（関東混合機工業会長、日本食品機械工業会元会長）、髙橋祥元（江釣子ショッピングセンター理事長、日本ショッピングセンター協会副会長）▽旭日小綬章＝川西修（幸南食糧会長、松原商工会議所元会頭）、榊原卓三（尾張製粉会長、半田商工会議所元会頭）▽旭日双光章＝石橋昭彦（イシバシプラザ社長、沼津商工会議所元副会頭）、佐藤正直（宇佐屋会長、中津商工会議所元副会頭）、野村利夫（野村甘露煮店店主、古河商工会議所副会頭）、原満夫（デリカウイング会長兼CEO、中津川商工会議所副会頭）、久保順一（八幡グループ代表、元羽咋市商工会会長）▽旭日単光章＝大塚経雄（亀屋陸奥会長）、岡田健次（岡萬商店代表取締役）、嶌村彰禧（北海道ワイン会長）

財務省関係

旭日重光章＝荒蒔康一郎（麒麟麦酒元社長）、本田勝彦（日本たばこ産業元社長）▽旭日小綬章＝今井用一（今井酒造店社長、長野県酒造組合元会長）、田島義隆（田島代表取締役、神奈川県卸売酒販組合理事長）▽旭日双光章＝石橋正敏（奈良県小売酒販組合連合会元会長）、大橋一雄（栃木県小売酒販組合連合会会長）

厚生労働省関係

旭日双光章＝木村祐直（青森県食品衛生協会元副会長）、小泉定雄（東京都食品衛生協会副会長）、小園武男（宮崎県食品衛生協会元副会長）、小森隆盛（石川県食品衛生協会副会長）、山口弘勝（長崎県食品衛生協会会長）▽旭日単光章＝伊藤桂（静岡県食肉生活衛生同業組合副理事長）、加藤重德（栃木県めん類業生活衛生同業組合理事長）、徐勝二（新潟県麺類飲食業生活衛生同業組合副理事長）

物流ブラックアウトに備えろ

支援体制見直すCGC〈1〉

地球温暖化の影響と思われる〝気象環境の変化〟を身をもって感じることが多くなった。CGCジャパンは大規模災害発生直後から、当該地域の加盟企業に対し、事業の継続と地域住民の生活を支えるためのさまざまな支援活動を行っている。司令塔となるのが本社に設けられる緊急対策本部だが、今年は既に6回も設置した。例年せいぜい1~2回程度で、6回の設置は初めてのことだという。今年改めて考えさせられたのが、〝気象環境の変化〟とともに〝物流環境の変化〟もあるため、「増車、増員、前倒し」を基本とする従来通りの対応策には限界があるということ。現在、抜本的な見直しに着手したところだ。災害時の現場で何が起こっていたか、共通する課題、今後の対応策などを3回連載で掲載する。

今年に入って緊急対策本部を立ち上げたのは、①1月22日関東大豪雪②2月6日北陸大豪雪③6月18日大阪北部地震（震度6弱）④7月6日西日本大豪雨⑤9月4日台風21号⑥9月6日北海道胆振東部地震（震度7）の6回だった。

六甲アイランド

高潮でセンター機能せず

400人を超える行列
（アークス菊水店）

CGCジャパンには、事前準備、本部用、店舗用―などの章からなる107ページの「災害マニュアル」があり、それに基づき大規模災害時には、11の地区本部・支社から緊急対応商品（水、無菌米飯、カップ麺など）を積んだ10tトラックを、9時間以内に被災地に向け送り出す。夜間も稼働している在庫型のJDセンターには60~70台のトラック（雇車）があり、各店舗に配送するトラックを急ぎ災害用に仕立て直すものだ。緊急時には被災地に行ってもらう取り決めを委託先と交わし、支援物資を積み込む訓練などを日頃から実施している。関東大豪雪以外は緊急支援物資を積んだトラックを送り出したが、現場の様子が従来とは違っていた。台風21号と北海道胆振地震などの現場を見てみよう。

9月4日、関空の連絡橋にタンカーが衝突した台風21号は、上陸時の中心気圧が950ヘクトパスカル、最大風速は秒速45mの非常に強い勢力だった。前日の3日夕方、JRは翌朝からの運休を発表し、避難勧告を出す自治体も多数あった。この時点で物流委託先から、翌朝から営業しない、六甲アイランドのセンターは動かないという連絡があった。CGCジャパンの本部は慌てて、委託先がアンダーだったため、管理している物流会社にトラックと人の応援を頼み、トラックがないため赤帽や通常の車で現場に向かったものの、高潮のため敷地に入ることができなかった。5日朝に六甲アイランドに入ると、破損した輸出用中古車が何台も折り重なったり、コンテナ火災や高潮による浸水被害など、想定もしなかった事態を目の当たりにした。

7月の西日本大豪雨では、山陽、中国自動車道の通行止めが長引いたのに加え、JR貨物は長期間運行できなかった。モーダルシフトで鉄道輸送に切り替えていた大手の荷主が一斉にトラックに集中し、運賃が通常の3倍まで跳ね上がったという。

北海道胆振東部地震ではブラックアウトが発生し、道内の物流は全く機能しなかった。函館、小樽、苫小牧などの港湾施設が使えず着岸が不可能、青森など北海道に向かう本州の港は足止めされたトラックであふれかえった。発生前に北海道に渡れたトラックも信号が消えて走れず、センターに着いて待機していたトラックも、倉庫のシャッターが開かず数珠つなぎ状態となっていた。

（つづく）

逆光線

芸術の秋。日本美術展史上最多の点数を誇るフェルメール展が大盛況だという。光の魔術師と称されるヨハネス・フェルメール。「真珠の耳飾りの少女」や「牛乳を注ぐ女」が代表作として知られる▼会場が人いきれだとじっくり鑑賞するのは難しそうだが、西洋画のおすすめの鑑賞方法は、まず全体を眺めてから次に近寄り細部を見つめるのだという。日本画の大家がそう教えてくれた。日本画の場合はその逆で、最初に近寄り繊細な筆遣いを味わってから全体を眺めるのが良いとのこと▼食品・飲料のパッケージはどうだろう。店頭で手に取ってもらうことを最優先に考えると、西洋画の鑑賞アプローチ、つまり広角でいかに見栄えがするかが重要だと考える。商品単体で見栄えがするパッケージであっても、店頭で重ねて並べられたり光の当たり加減でくすんで見えたりする▼一方、日本画の鑑賞アプローチはリピート獲得に効きそうだ。意匠性だけでなく開け方の説明など痒い所へ手が届くサービス精神が感じられれば次につながり得る。遠近両方に気を配らねばならない。

きょうの業界天気図

チョコレート

はれのちくもり

上期前年並みに推移し堅調維持。ハイカカオに陰りで暗雲も。

きょうの主な内容

- 4～7 チョコレート特集
- 8 菓子流通版

純粋ハチミツ
サクラ印
ハチミツ
株式会社 加藤美蜂園本舗
本社03－3875－1182

小豆島の味の香り
安田のつくだ煮
初上り
塩昆布茶
お茶の香りと磯の香り。
とっても上品なおちつきの味わい。
安田食品工業株式会社
香川県小豆郡内海町安田甲103番地 TEL.(0879)82-2225

明日をもっとおいしく
meiji
わたしは、大人舌。
それはカカオが教えてくれる。
NEW
meiji THE Chocolate
株式会社 明治　the-chocolate.jp